

United Nations Global Compact
United Nations
New York, NY 10017
United States of America

June 30, 2025

UN Global Compact Communication on Engagement

この書面により、学校法人聖学院は、国連グローバルコンパクトが掲げる 10 原則および、SDGs 達成に向けての推進活動に賛同し、「神を仰ぎ 人に仕う」という当学校法人の教育理念に基づいた活動の実践によって、グローバルコンパクトの支援となる活動を継続して行っていくことを表明します。私たち、学校法人聖学院の SDGs 推進に向けての考え方と活動実績は、添付した資料をご参照ください。

With this letter, Seigakuin University & Schools agrees to the Ten Principles of the United Nations Global Compact and promotional activities toward achieving the SDGs and expresses our intention to continue to carry out activities that support the Global Compact by practicing activities based on our educational philosophy of "Love God and Serve His People."

We expressed our ideas and list of past activities as Seigakuin University & Schools toward promoting the SDGs in the attached document, Please refer to it.

学校法人聖学院は 2023 年制定の第 2 期ビジョンにおいて、「誰一人取り残さない」世界を目指す宣言を継続しています。学校法人聖学院は幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院を擁するキリスト教主義の学校法人です。それぞれの学校の発達段階に応じて、相応しい「誰一人取り残さない」世界を目指す実践を行っております。私たちは、世界中の人々と協力をして、持続的な未来を描いていくためには、教育の力が大きいことを自覚しています。また、教育はもちろんのこと、聖学院の各校の資源を活用し、地域の課題解決に貢献できることがあると考えています。

Seigakuin University & Schools continue to aim for a world where "No one will be left behind" through our 2nd term vision, formulated in 2023.

Seigakuin University & Schools is a Christian educational corporation that has a preschool, elementary school, junior high school, high school, university, and graduate school. At each level of educational development, our practice is consistent with our vision for a world where "No one will be left behind."

In order to work with people around the world to shape a sustainable future, we are aware of the significant power of education.

In addition to education, we believe that we can utilize each of Seigakuin's schools' resources to contribute toward resolving regional issues.

神から与えられた私たち聖学院が、学校法人としての社会的責任とその能力に期待されることにおいて、地域に、日本に、世界に、地球に、未来に対して貢献することを誓い、国連グローバルコンパクトへの宣言といたします。

We, as Seigakuin, blessed and provided for by God, have a social responsibility as an educational corporation, relied upon for our abilities, vow to contribute toward the future of the region, Japan, the world, and the Earth, and declare allegiance to the United Nations Global Compact.

Cordially submitted

小池 茂子

Shigeko Koike

Chair

Seigakuin University&Schools

国連グローバル・コンパクトの活動を促進する本法人の活動報告

Description Of The Practical Actions (2023 年 7 月～2025 年 6 月末)

1. 学校法人 聖学院全体の活動の要約

学校法人聖学院では、幼稚園から大学院までの園児、児童、生徒、学生、教職員、保護者などステークホルダーすべてにおいて SDGs 自体に対する認知と、「SDGs 達成をめざしてアクションを起こしている学校としての聖学院」という自覚、認知が極めて高まりました。さらには、認知するだけに止まらず、学生たちや教職員が主体的に関わる行動が目立つようになりました。具体的に、そうした行動を伴う代表的な活動としては以下の 3 項目があげられます。

1 つ目は「GX・SX 教育ユニット」が推進する「中高生 SDGs プロジェクト」の活動です。東京都北区中里（駒込地域）に所在地がある聖学院小学校、女子聖学院中学校・高等学校（以下、女子聖学院中高）、聖学院中学校・高等学校（以下、聖学院中高）の 3 校が、2021 年度に組織した「教育デザイン開発センター」の 1 つのユニットとして、GX・SX 教育ユニットが設置されています。当ユニットの主要な活動の一つには中高生 SDGs プロジェクトがあり、2023～2024 年度は環境をテーマとする 4 つのカテゴリーのチームを結成してプロジェクト活動を行いました。

2 つ目は聖学院大学に設置された「聖学院大学サステナビリティセンター（SSC）」の活動です。SSC は、SDGs・サステナビリティ推進に関わる大学の中の活動を統括するとともに、「地域のプラットフォーム」として大学と大学外の諸団体、企業、自治体等との連携・協働を促進し、持続可能な社会と世界の形成に向けてのグローバルな役割を担っています。該当期間中は大学内外で SDGs 推進をめざす学生団体「Petite Arche（プチ・アルシュ）」と連携して埼玉県イベントや「エコプロ」への出展などを行いました。

3 つ目は、聖学院各校の横断的な広報を担当する『聖学院 広報センター』が主体となる活動です。その一つが「聖学院 SDGs コンテスト」の実施で、「写真・動画部門」の募集・審査及び SDGs をテーマとした英語スピーチコンテスト（「英語スピーチ部門」）を実施しています。毎年 12 月には、東京ビッグサイトで開催される「エコプロ」に出展しており、GX・SX 教育ユニットや SSC の活動報告を行うほか、聖学院の出展ブース内に SDGs コンテスト「写真・動画部門」の受賞作品を展示しています。

2. GX・SX 教育ユニット 中高生 SDGs プロジェクトの活動報告

聖学院中高、女子聖学院中高合同の、中高生 SDGs プロジェクトは、2021 年度は「防災」をテーマとし、2022 年度以降は「環境」をテーマに活動を行なっています。2023 年度は「菜園」「コンポスト」「フードロス削減」「無添加石鹸」「プラスチックゴミ削減」「エネルギー」の 6 チームに分かれて活動し、2024 年度はチームを統合し「菜園・コンポスト」「フードロス」「資源活用」「エネルギー」の 4 チーム編成でそれぞれの活動を行いました。

チームごとに、フードパントリーへの参加、ビーチクリーン活動、大学の環境活動見学、クルックフィールド（千葉県木更津市、農とアートの施設）見学などを実施しました。また、自由研究フェスタやサイエンスアゴラなど外部団体主催のイベントにも出展しています。

学校主催の活動としては、8 月に中間発表会を実施、男女中高のそれぞれの創立記念祭（文化祭）での発表、そして 3 月には「聖学院 SDGs デー」を設定して聖学院小学校児童向けの体験イベントと最終活動発表会を実施しました。

【2024 年度 活動報告】

6 月 キックオフ

7 月～8 月 大学、クルックフィールド見学、ビーチクリーン活動、フードパントリー参加

8月5日（月）自由研究フェスタ出展 小学生向けワークショップ実施
8月23日（金）SDGs プロジェクト 2024 年度 中間発表会
10月26日（土）・27日（日）サイエンスアゴラ出展（資源活用・エネルギーチーム）
11月2日（土）・4日（月・休）創立記念祭出展 ポスター展示、バガス容器、フードパントリー
3月22日（土）SDGs デー 環境体験ワークショップ（聖学院小学校児童対象）
3月26日（水）SDGs プロジェクト 2024 年度 最終発表会



環境体験ワークショップ

<https://note.seig.ac.jp/n/n94f4673a2b39>



最終発表会

<https://note.seig.ac.jp/n/nae9761395c5a>

3. 聖学院大学サステナビリティセンターの活動報告

聖学院大学サステナビリティセンター（SSC）は、聖学院大学の多くの学生に SDGs やサステナビリティを身近に感じてもらうと考え、楽しみながら学べるイベントや取り組みを企画・運営しました。

①IKEA 新三郷×SSC コラボレーション企画

・イケアのプラントボール試食会 2024 年 7 月 9 日（火）

イケアの店舗で提供されている植物由来の原料でミートボールを再現した「プラントボール」の試食会を聖学院大学にて実施。およそ 150 名の学生、教職員が参加し試食を行いました。

・サステナブルストアツアー 2024 年 9 月 12 日（木）

IKEA 新三郷の店内をツアーし、環境に配慮された商品について学び、バックヤードのごみ・リサイクル分別エリアなどの見学を行いました。2024 年は、学生、教職員合わせて 13 名が参加しました。

②ペットボトルキャップ・アップサイクルプロジェクトを開始

循環型社会の実現をめざす日本シーム株式会社（埼玉県川口市）と連携し、「ペットボトルキャップ・アップサイクルプロジェクト」を始動しました。このプロジェクトは身近なところで SDGs に貢献することを目的としていて、聖学院大学内で回収したペットボトルキャップを日本シーム株式会社で再資源化、再活用します。2024 年 11 月 22 日（金）に聖学院大学にて、ペットボトルキャップ回収 BOX の贈呈式が行われました。

SSC は、「好きなこと×SDGs」をモットーに学生目線で SDGs を推進する学生団体 Petite Arche（プチ・アルシュ）と一緒にプロジェクト活動を行っています。

① 「SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル」のワークショップ 2024 年 9 月 22 日（日）

埼玉県とイオンモール上尾が主催する「SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル」にブース出展し、ペットボトルを使った子ども向けの SDGs ワークショップを実施しました。

② 「エコプロ」で体験型クイズを実施 2024 年 12 月 4 日（水）～6 日（金）

ブース出展しているエコプロの聖学院大学ブースにて、小中学生などの来場者向けに、海洋プラス

チェックごみについて考えるための体験型クイズを実施しました。

③ 古着プロジェクト 「サーキュラーファッションショー」「くるみボタン」制作ワークショップ

埼玉県民の日 埼玉県庁オープンデー2023年11月14日(火)

エコプロ 2023年12月6日(水)～8日(金)

SDG12「つくる責任 つかう責任」にフォーカスし、古着の魅力や再利用方法、古着がSDGsにつながることを発信する活動に取り組みました。

④ 学食寄付メニュープロジェクト

2024年12月16日(月)～20日(金)

2023年12月11日(月)～15日(金)

2019年から学生食堂の売上金の一部を国連WFP(World Food Programme)への寄付を通して世界の飢餓に苦しむ子どもたちの学校給食支援を行っています。

以上を含む活動をまとめた「SDGs&Seig Newsletter」を2023年および2024年4月に発行しました。



SDGs&Seig Newsletter 2024-2025

<https://www.seigakuin-univ.ac.jp/institution/ssc/news/249/>

4. 聖学院広報センターの活動報告

◇「聖学院 SDGs コンテスト」 写真・動画部門

- ・2023年(第4回)コンテスト実施 応募期間:2023年9/1～10/4

テーマ:教えてあなたのSDGs 応募総数:250作品

最優秀賞(1名)・優秀賞(2名)・佳作(4名)・広報センター長賞1名

- ・2024年(第5回)コンテスト実施 応募期間:2024年7/18～10/3

テーマ:教えてあなたのSDGsー環境について考えようー 応募総数:35作品

最優秀賞(1名)・優秀賞(2名)・佳作(3名)・広報センター長賞1名

◇ 聖学院 SDGs 英語スピーチコンテスト (英語スピーチ部門)

実施日:2025年1月28日(火) 会場:聖学院小学校

【スピーチタイトル】

「Racial discrimination issues seen through changes in Disney works」女子聖学院高校1年生

「Children All Over the World」女子聖学院高校2年生

「Sexual Minorities and SDGs」 聖学院高校 2 年生
「Food Loss Activity at Seigakuin」 聖学院高校 2 年生
「Why is Education Necessary?」 聖学院高校 2 年生
「Equality for Everyone」 聖学院高校 2 年生
「Ocean Plastic Problem」 女子聖学院高校 1 年生
「Food Waste」 聖学院高校 2 年生
「Sign Language Connects the World」 女子聖学院高校 1 年生
「Global Warming」 女子聖学院高校 2 年生
※発表順

【審査結果】

最優秀賞 「Food Waste」 聖学院高校 2 年生
優秀賞 「Sign Language Connects the World」 女子聖学院高校 1 年生
「Why is Education Necessary?」 聖学院高校 2 年生



聖学院 SDGs 英語スピーチコンテスト

<https://note.seig.ac.jp/n/nfad36a2acaef>

◇「エコプロ」出展

2023 年(12/6～8)、2024 年 (12/7～9) に出展しました。

聖学院大学サステナビリティセンター、学生団体 Petite Arche が聖学院大学 のブースを企画、運営をし、聖学院中学校・高等学校 女子聖学院中学校・高等学校 聖学院小学校の連名ブースを広報センターが企画・運営しました。

【ブース出展内容】

聖学院大学：サーキュラーファッションショー展示紹介、くるみボタン制作のワークショップ(2023 年)

海洋プラスチックごみについて考えるための体験型クイズ (2024 年)

聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院小学校：(2023 年、2024 年とも)

聖学院 SDGs コンテスト優秀作品展示、中高 SDGs プロジェクト活動紹介パネル展示 他

◇オウンドメディア note ブログ「聖学院の SDGs」

2023 年以降の聖学院の note 記事の中から SDGs に関連のあるものをマガジンに集めています。

<https://note.seig.ac.jp/m/mb17aba8550ef>

5. その他、聖学院各校の活動報告

聖学院小学校

◇とうふづくり授業

生活科の授業で栽培した大豆を収穫し、いとうファーム（所在地：山形県）の指導のもとでとうふづくりを毎年行なっています。



2年生 生活科授業 とうふづくり

<https://note.seig.ac.jp/n/n73a251a2e997>

女子聖学院中学校・高等学校

◇ecomame

自分たちにできるボランティア活動や環境活動を探して実行している団体で、任意団体から同好会となり、2025年度からは高校探究のゼミ活動団体となりました。フードバンク活動、子ども食堂ボランティア訪問、チャリティレモネード販売などの活動を行なっています。

◇マラウイコーヒーチャリティ企画

生徒会役員が中心となり、創立記念祭（文化祭）にて、「ウォームハーツコーヒークラブ」というマラウイ産フェアトレードコーヒー販売による給食支援事業に協力するチャリティ企画を行いました。



マラウイコーヒーチャリティ企画

聖学院中学校・高等学校

◇タイ・チェンライ水害支援

2024年に発生したタイの大規模な水害で被害を受けたチェンライのメーコック財団、アブアリ財団を支援するため募金活動を行いました。

◇GIC（グローバルイノベーションクラス）／プロジェクト（ゼミ）活動

聖学院高校 GIC の大きな特色にプロジェクト（ゼミ）の活動があります。GIC は「ものづくり」「こと

づくり」を通して世界に貢献できる人を育てることをコンセプトとして掲げていますが、プロジェクト活動にもそれが現れており、人権、環境、貧困、ごみ問題などの社会課題の解決をテーマとした探究が行われています。

◇みつばちプロジェクト

屋上に巣箱を設置し、みつばちを飼育しハチミツを作って販売しています。東京都北区飛鳥山公園の渋沢×北区飛鳥山おみやげ館他で聖学院みつばちプロジェクトのハチミツ、規格外の果物を使って作ったジャム、ハチミツ入りのジンジャーエールなどが販売されています。



GIC（グローバルイノベーションクラス）／プロジェクト（ゼミ）活動

<https://note.seig.ac.jp/n/n95fd5e6dfc9c>

聖学院大学

◇公開講演会

「平和な世界を構築するためにできること

～大量虐殺を経験したアフリカ・ルワンダで活動する NGO から学ぶ～」2024 年 7 月 17 日（水）

講師：ルダシングワ真美氏、ガテラ・ルダシングワ・エマニュエル氏

（NGO ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト）

「核兵器のない世界へ向かって 原爆投下からノーベル賞まで～そしてこれから～」2025 年 5 月 14 日（水）

講師：和田 征子氏（日本被団協事務局次長）

◇官学間連携事業

・2023 年 12 月開催の「あげおヒューマンライツミーティング 21」に「パープルリボンプロジェクト（女性に対する暴力をなくす運動）」のブースを出展。聖学院大学の学生が作成した DV 防止啓発ポスターが公開され、上尾市長らとともに学生が登壇しトークセッションを実施した。

・埼玉県出前講座「埼玉県における SDGs の推進について」2023 年 7 月・2024 年 6 月・2025 年 6 月、聖学院大学にて実施

◇SDGs を学べる授業

「平和学」「環境学」「開発学」「まちづくり学」「社会への扉を開く」「国際ボランティア入門」

「福祉サービスの組織と経営」 他



講演会「核兵器のない世界へ向かって」

以上

本法人の活動成果の報告

Measurement Of Outcomes

1. 学校法人 聖学院全体の活動成果の要約

聖学院は 2018 年に策定した聖学院ビジョンの「誰一人取り残さない世界の実現をめざす」というテーマを、第 2 期ビジョンでも継承し、SDGs の達成をめざす活動につなげています。

その活動内容は、「国連グローバル・コンパクトの活動を促進する本法人の活動報告」に記した通りです。

特に、中高生 SDGs プロジェクト活動の評価から、聖学院小学校の ASP-net 加盟承認（ユネスコスクール）、聖学院中高、女子聖学院中高のユネスコスクールキャンディデイト承認、ASP-net 加盟申請、ESD 大賞精励賞の受賞という成果が示されています。

聖学院大学では聖学院大学サステナビリティセンターが大学内のリーダーシップを取り、活動を推進しています。アカデミックな場としての特性を生かして、SDGs をアカデミックな切り口で探求する専門書の出版に至りました。

2. ユネスコスクール（ASP-net 加盟）、ユネスコスクール・キャンディデイト承認

聖学院小学校は 2025 年 6 月に ASP-net 加盟の承認を受けユネスコスクールに認定されました。聖学院中高、女子聖学院中高は 2023 年 7 月にユネスコスクール・キャンディデイトに承認され、2025 年 1 月に ASP-net（Associated Schools Net work）への加盟申請手続きを行い、現在、認可を待っています。

3. ESD 大賞の受賞

2024 年、聖学院中高、女子聖学院中高合同の、中高生 SDGs プロジェクトは、身近な学校から環境問題を自分ごととして捉え、その解決方法を探究する活動が評価され、NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム主催「第 15 回 ESD 大賞」の ESD 精励賞を受賞しました。

また、ESD 大賞の個人作文部門では聖学院高校 1 年生（受賞当時）生徒が優秀賞を受賞しました。



ESD 大賞授賞式

4. 聖学院大学サステナビリティセンター（SSC）が本を出版

聖学院大学サステナビリティセンター（SSC）監修による書籍「SDGs で世界を探求する——9 つのテーマから学ぶ」を 2025 年 4 月に聖学院大学出版会より刊行しました。聖学院大学の教員他、9 名の研究者の、平和学、国際法、まちづくり、福祉政策はもとより、音楽、絵画芸術、文学など、それぞれの専門分野を切り口とした論文を集めました。SDGs をアカデミックな視点で捉えた専門書となっています。



『SDGs で世界を探求する——9 つのテーマから学ぶ』聖学院大学出版会 2025 年 4 月発行

聖学院大学サステナビリティセンター監修 鈴木詩衣菜 編

以上